

東京スター銀行 Web 取引明細書へのお切り替え人数に応じ、 1,663 万円を寄付いたしました

株式会社東京スター銀行(東京都港区:代表執行役頭取 CEO 入江優)は、2011年6月より12月までの7ヵ月間に、当行の「Web 取引明細書」にお切り替えいただいたお客さまの人数に応じた額を、被災地の皆さまにお役立ていただくべく社団法人日本病院会および公益社団法人日本看護協会へ寄付いたしましたのでお知らせいたします。

本件は、上記期間に、月次配送の「スターワン口座取引明細書」を「Web 取引明細書」に切り替えていただいたお客さまの人数×100円に相当する額(1,663万円)を寄付したものです。被災地の皆さまへの復興支援に加えて、ささやかながら、製紙や印刷、配送などに必要な電力や資源の節約という面での貢献にもつながると考え、実施に至りました。

本施策の趣旨にご賛同賜り、ご協力いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。

■ 拠出した寄付金額および当該団体の被災地向け活動:

1) 社団法人日本病院会 (<http://www.hospital.or.jp/>) 8,319,000 円

震災直後より被災地域の被害状況を調査し、会員病院から被災病院への医師および看護師の派遣及び物資の発送等を行っています。現在も、被災地域の医療機関、政府、自治体及び世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」と連携し、復興状況を把握しながら医療の確保に努めています。

2) 公益社団法人日本看護協会 (<http://www.nurse.or.jp/>) 8,319,000 円

震災直後から2011年5月中旬までの間、日本看護協会は被災地の医療機関や避難所に、延べ3,770人の災害支援ナースを派遣しました。また、都道府県看護協会からは延べ4,191人が派遣されました。主な活動内容は、急病人の対応、医療・介護が必要な避難者のケアや健康管理、政府や行政に向けた復旧・復興に関する緊急提言の実施等です。加えて、医療関係施設等の看護機能の再建や、在宅ケアの再建に向けた支援事業、原発避難地域の保健活動、看護職による様々な被災者支援活動など、これからも復興を目指した中長期的な取り組みを推進していきます。

東京スター銀行は、東北地方に拠点を置く金融機関として、被災地の皆さまと共に復興に尽力いたしますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。